



11月も半ば過ぎ、「ほっと」のメンバーはそれぞれ韓国と国内居残りに分かれて旅行にでかけました。果たして彼らはしっかり楽しんでこれたでしょうか…詳しくは次号で紹介します。

CONTENTS

長崎研修旅行レポート …2頁

堀部正／堀正明／今健太／孫悟麴

特集 昼食会 …12頁

安兵衛／堀正明／菊池春海／UFO／山口咲子

リネカー／ほっとスペースのボブ・ディラン／孫悟麴

新職員紹介 …14頁

A・M／YURI MAMA／COW

日々雑感 …15頁

秋山健太郎／よかいち／堀正明／UFO／ボタンコ

旅行ルポルタージュ（2本） …18頁

ほっとスペースのボブ・ディラン

2013サマーソニック …19頁

ほっとスペースのボブ・ディラン

特別寄稿 …21頁

山海珍味

次号予告／将来の展望／結び

原稿募集のお知らせ／編集後記 …24頁

SSKS



ほっと

「ほっとスペース八王子」ニュース

2013年11月号

143号

定価100円

編集人 八王子市八幡町一三二ふくしまやビル二階
電話 〇四二六二八二三九
FAX 〇四二六二〇一七八六
E-MAIL hp@nifty.com
HP <http://homepage2.nifty.com/hospace/>
CXB01672@nifty.ne.jp
〇一八〇七六二四六「ほっとスペース八王子」
世田谷区砧六二二六二二 障害者団体定期刊行物協会
<https://www.facebook.com/hachioji.hospace>

Facebook



レイシズム（民族排外）とかヘイトスピーチ
（憎悪表現）が吹き荒れる状況下での8・9ナガサキ

堀部 正

安倍反動が吹き荒れ、3・11フクシマのみならず、8・6ヒロシマ、8・9ナガサキの被爆という事実さえ風化させようという風潮の中での8・9ナガサキに参加しました。

広島市長、長崎市長は今年の平和宣言で大半を安倍批判に向けられていたのが印象的でした。

（長崎市長平和宣言…別掲参照）

8月7日、長崎に着くや長崎中華街に行き、長崎皿うどん、チャンポン、チャーハン、エビチリ等をお腹いっぱい食べました。

最近トレンドの長崎のおにぎりを思案橋で買い込んで、ホテルの部屋でお酒を飲みながら食べました。

確かに、美味しかった。

8月8日朝は路面電車を使い、原爆資料館に。被爆直後の長崎の有様（写真を参照）を見学しました。お昼のナガサキ平和集会、翌日の遺構巡りで被爆二世の方からお話がありました。



原爆投下直後の長崎市（岩川町付近）

原爆資料館の展示物が被爆直後の展示からショッキングなものは次第に取り除かれ、被爆して溶けた瓦やガラス製品などショック度のないものに取って代わられていて風化を促進させている、と説明がありました。

お昼の平和集会では3・11フクシマで福岡に避難したお母さんたちを中心に集う「ママは原発いらない」グループの話。沖縄から安次富浩さんが発言。オスブレイ問題を含めて、沖縄の



破壊された浦上天主堂

現状をアピールされていました。

その後、麓に福山雅治の実家がある稲佐山にロープウェイで登りました。

今年はホテルが違ったので夜景は望めなかったけど、昼間の長崎港もまた良かった。

伊能忠敬の作成した古地図を見ながらの長崎港は面白かった。

9日早朝、恒例の在日朝鮮人被爆者慰霊碑前での集会に参加し、霊前にお花を手向けました。

隣には建築労働者の慰霊碑、浦上駅横には鉄道労働者の慰霊碑がありました。

労働運動が活発だったころは全国から産業別労働組合がこの慰霊碑の前に反戦・反核を誓い合っただろうなとちょっと寂しい思いをしました。

長崎市長平和宣言

68年前の今日、このまちの上空にアメリカの爆撃機が一発の原子爆弾を投下しました。熱線、爆風、放射線の威力は凄まじく、直後から起こった火災は一昼夜続きました。人々が暮らしていたまちは一瞬で廃墟となり、24万人の市民のうち15万人が傷つき、そのうち7万4千人の方々が命を奪われました。生き残った被爆者は、68年たった今もなお、放射線による白血病やがん発病への不安、そして深い心の傷を抱え続けています。

このむごい兵器をつくったのは人間です。広島と長崎で、二度までも使ったのも人間です。核実験を繰り返し地球を汚染し続けているのも人間です。人間はこれまで数々の過ちを犯してきました。だからこそ忘れてはならない過去の誓いを、立ち返るべき原点を、折にふれ確かめなければなりません。

日本政府に、被爆国としての原点に戻ることを求めます。

今年4月、ジュネーブで開催された核不拡散条約（NPT）再検討会議準備委員会で提出された核兵器の非人道性を訴える共同声明に、80か国が賛同しました。南アフリカなどの提案国は、わが国にも賛同の署名を求めました。

しかし、日本政府は署名せず、世界の期待を裏切りました。人類はいかなる状況においても核兵器を使うべきではない、という文言が受け入れられないとすれば、核兵器の使用を状況によっては認めるという姿勢を日本政府は示したことになります。これは二度と、世界の誰にも被爆の経験をさせないという、被爆国としての原点に反します。

インドとの原子力協定交渉の再開についても同じです。

NPTに加盟せず核保有したインドへの原子力協力は、核兵器保有国をこれ以上増やさないためのルールを定めたNPTを形骸化することになります。NPTを脱退して核保有をめざす北朝鮮などの動きを正当化する口実を与え、朝鮮半島の非核化の妨げにもなります。

日本政府には、被爆国としての原点に戻ることを求めます。

非核三原則の法制化への取り組み、北東アジア非核兵器地帯検討の呼びかけなど、被爆国としてのリーダーシップを具体的な行動に移すことを求めます。

核兵器保有国には、NPTの中で核軍縮への誠実な努力義務が課されています。これは世界に対する約束です。

2009年4月、アメリカのオバマ大統領はブラハで「核兵器のない世界」を目指す決意を示しました。今年6月にはベルリンで、「核兵器が存在する限り、私たちは真に安全ではない」と述べ、さらなる核軍縮に取り組むことを明らかにしました。被爆地はオバマ大統領の姿勢を支持します。

しかし、世界には今も1万7千発以上の核弾頭が存在し、その90%以上がアメリカとロシアのものです。オバマ大統領、プーチン



大統領、もっと早く、もっと大胆に核弾頭の削減に取り組んでください。「核兵器のない世界」を遠い夢とするのではなく、人間が早急に解決すべき課題として、核兵器の廃

絶に取り組み、世界との約束を果たすべきです。

核兵器のない世界の実現を、国の



リーダーだけにまかせるのではなく、市民社会を構成する私たち一人ひとりにもできることがあります。

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすること」という日本国憲法前文には、平和を希求するという日本国民の固い決意がこめられています。かつて戦争が多くの人々の命を奪い、心と体を深く傷つけた事実を、戦争がもたらした数々のむごい光景を、決して忘れない、決して繰り返さない、という平和希求の原点を忘れないためには、戦争体験、被爆体験を語り継ぐことが不可欠です。

若い世代の皆さん、被爆者の声を聞いたことがありますか。「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウォー、ノーモア・ヒバクシャ」と叫ぶ声を。

あなた方は被爆者の声を直接聞くことができる最後の世代です。68年前、原子雲の下で何があったのか。なぜ被爆者は未来のために身を削りながら核兵器廃絶を訴え続けるのか。被爆者の声に耳を傾けてみてください。そして、あなたが住む世界、あなたの子もたちが生きる未来に核兵器が存在していいのか。考えてみてください。互いに話し合ってみてください。あなたたちこそが未来なのです。

地域の市民としてできることもあります。わが国では自治体の90%近くが非核宣言をしています。非核宣言は、核兵器の犠牲者になることを拒み、平和を求める市民の決意を示すものです。宣言をした自治体でつくる日本非核宣言自治体協議会は今年、設立30周年を迎えました。皆さんが宣言を行動に移そうとするときは、協議会も、被爆地も、仲間として力をお貸しします。

長崎では、今年11月、「第5回核兵器廃絶！地球市民集会ナガサキ」を開催します。市民の力で、核兵器廃絶を被爆地から世界へ発信します。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、未だ収束せず、放射能の被害は拡大しています。多くの方々が平穏な日々を突然奪われたうえ、将来の見通しが立たない暮らしを強いられています。長崎は、福島の日も早い復興を願い、応援していきます。

先月、核兵器廃絶を訴え、被爆者援護の充実に力を尽くしてきた山口仙二さんが亡くなりました。被爆者はいよいよ少なくなり、平均年齢は78歳を超えました。高齢化する被爆者の援護の充実にあらためて求めます。

原子爆弾により亡くなられた方々に心から哀悼の意を捧げ、広島市と協力して核兵器のない世界の実現に努力し続けることをここに宣言します。

2013年（平成25年）8月9日

長崎市長 田上 富久



特集

長崎研修旅行



平和宣言をする田上長崎市長。

玄海原子力発電所について

堀 正明

玄海原発をテーマに選んだ理由

私は1971年生まれで、高校を卒業する1990年までと、大学を中退した1996年から、東京のアパートに戻った2006年まで通算30年大分市に住んでいました。

大分市からは、愛媛県伊方原発に次いで2番目に近い原発であり、大分在住中は、九州電力の理解を求めるCMがたびたび放送されました。

しかし、東京では、「原発に理解を求める」CMが全く放送されない中、「3・11」の福島原発事故で私の体は震えあがり、体調をこわし、自らも精神病院に入院することになってしまいました。

そこで、玄海原発を選びました。

玄海原発の概要

九州電力で最大の発電所であり、以前は九州7県の電力供給量の3割以上を発電しています。3号機は日本初のプルサーマル発電を2009年から実施しています。

プルサーマルとは

通常、軽水炉では、ウラン燃料を核分裂させることで熱エネルギーを生みだすが、プルサーマルでは、MOX燃料と呼ばれるウラン238とプルトニウムの混合酸化物を燃料とします。

MOX燃料はウラン燃料に比べ、放射能が高いので、作業員の不要な被曝に、十分配慮する必要があります。

発電設備

4号機まであり、1号機は1975年10月15日に運転を開始しました。現在は4機とも定期点検中です。

1号機の老朽化問題

1号機の脆性遷移温度が1993年に56℃、2009年に98℃と上昇しており、専門家想定以上に老朽化は進んでおり、緊急冷却の際原子炉圧力容器が破損する恐れがあると指摘されています。

やらせメール問題

2011年3月11日の東日本大震災で、全国すべての原発が運転停止しました。

2011年6月、玄海原発2、3号機の運転再開に向け経済産業省が主催して生放送された「佐賀県民向け説明会」の実施にあたり、九州電力が関係会社らの社員らに運転再開を支持する文言の電子メールを投稿するよう指示していた世論偽装工作がありました。

注）脆性遷移温度

金属はある温度以下になると粘りがなくなつて、衝撃に弱くなる。この境目の温度のこと。金属に中性子が当た



り続けると原子の並び方が乱れ、より高い温度でも壊れやすくなる。このため、電力会社は、原子炉圧力容器の内部に入れてある同じ材質の試験片を順次取り出して、その遷移温度を実測し、熱したガラスを急に冷やすと割れるような現象が起きないか調べている。

原発の運転期間が長くなるほど遷移温度は上昇する。上がり方は主に金属の成分に左右されるが、完全には予測できていない。

（2012・3・5 朝日新聞 朝刊 2社会）

稲佐ヨシユヅ

堀 正明

2日目（8月8日）午後の集会を終えてから、「ほっとスペース八王子」理事長の提案で、ロープウェイで稲佐山に登ることになりました。

理事長と拾ったタクシーの運転手さんは年配の方でした。

マニュアル車なのが珍しいので聞くと、「坂の多い長崎ではマニュアル車の方が便利」とのことでした。

話を伺つて、運転手さん自身も「被爆者健康手帳」を所持しているとのことでした。「この年になると、ガンが

特集

長崎研修旅行



原爆の影響によるものが、年なのか分からないのが怖い」とのことでした。

ロープウェイは委託されているものの、長崎市営です。

平日、日中は20分に1本の運行です。

浴衣姿の女性がガイドしていましたが、ロープウェイの車体はヨーロッパの車をデザインした有名な方らしく、総ガラス張りでした。

稲佐山は長崎のテレビ、FM放送の送信所も兼ねています。

ロープウェイの降り口から順に、NHK（総合・Eテレ・FM）FM長崎、民放テレビ4社の3本の鉄塔が立っていました。

ちなみに、長崎のテレビのチャンネル（リモコンD）は、NHK総合が1、Eテレが2、NBC（長崎放送、TBS系）が3、NIB（長崎国際テレビ、

日テレ系）が4、NCC（長崎文化放送、朝日系）が5、KTN（テレビ長崎、フジ系）が8で、TBSを除くと、東京と同じです。

私とSさんと理事長が、展望台の日かげで涼んでいたら、Nさんが、アメリカ人と話をしていて、堀部さんが加わっていました。

アメリカ人はNavyだそうです。

ロープウェイを下ってから、夕食場所まで理事長とタクシーに乗りました。私が、「長崎では、午前4時からめざにゅー（フジ）、おはよん（日テレ）をやっているの不便だともうすと、運転手さんは、NBCのデータ放送でニュースや天気予報を見ているとのことでした。



ロープウェイの道中大村湾を望む。

しっぽく（卓袱料理）

しっぽく料理（卓袱料理）

今 健太

1. しっぽくとは

しっぽくとは、卓のことであり、しっぽく料理とは卓上の料理そのものを指します。1570年に初めてポルトガル船が入港して以来、長い歴史の中で外国から影響を受けて長崎風にアレンジされた料理です。

一、御膳（吸物）…吸物仕立て、その椀を特に「おひれ」という。昔は、魚のひれを入れ、一匹の魚を一椀に使っていることを表してお客様を歓迎している意を伝えたとされている。真ん



展望台からの眺望

中に小餅を入れ、鯛、えび、玉はんぺん、鶏、しいたけ、唐人菜、みつばなどを盛り合わせる。

二、小菜（さしみ）…（当地ならではの食材が並ぶ。鯛、しらす、ぶり、ひらめ、いか。つまは白髪だいこん、紅たで、穂じそ、わさび。

三、小菜（湯引き）…あら、あらの道、はも、おうせ、いかなど。付け合わせは、ほうれん草、赤かぶ、みょうがなど。酢味噌、二杯酢を添える。

四、小菜（口取り）…二色卵、魚照焼、えび黄身ずし、魚うに焼、ゴーレン、南蛮漬、寒天寄せ、野菜（酢ばす）

五、小菜盛（香の物）…漬け物各種。

六、中鉢（豚角煮）…皮つき豚三枚肉。つけ合わせに野菜（ほうれん草、青とう、なすなど）

七、大鉢…あなごしんじょ、長崎てんぷら、巻そばろ、ヒレウス、卵ごうぶ、えび、白いも、さやいんげん、さやえんどう。

八、煮物（スープ仕立て）…揚玉、吉野とり、かつお菜、たけのこ、きくらげ、小ななどを入れたスープ。

九、御飯

十、水菓子（果物）…季節の果物

十一、梅碗（しるこ）…しるこに紅白ざらしの団子。塩さくら。

2. 歴史

起源は定かではないが元和・寛永期（1615年～1643年）に崇福寺、興福寺などの唐守が建立、徳川幕府が廃止、対中国貿易が長崎港に限定されたため、かなりの中国人が滞在していたものとみられる。

1689年（元禄2年）

に唐人屋敷が整備されるまでは、中国人と日本人がお互いに招きあい食事をした。

出島を拠点に行われたポルトガルやオランダの貿易によってもたらされた食材の影響も少なくない。

出島に居住するオランダ人と交流する機会のあった江戸幕府の役人を通してオランダの食文化が少しずつ長崎に広まっていた。



しっぽく料理の形態が生まれたと言われている。

元禄年間（1688年～1704年）

長崎に伝わった南蛮料理や中国料理にアレンジが加えられて日本料理化され、長崎独自の料理に変化した。やがて料理を自宅に取り寄せるようになり、それらを仕出しする料理屋は、料亭に成長していった。

1761年

清国人、呉成充が山西金石工門を船に招いて中国式の料理でもてなしたという「八遷卓宴式記」の記述が、しっぽく料理についての最古の記録である。

文化・文政期（1804年～1829年）

前後には、江戸で一大ブームとなる、一つのテーブルで囲んで大皿で食べるという中国スタイルは物珍しかったという。

江戸古典落語に登場する「百川」は、しっぽく料理として創業したと伝えられる。

従来の日本料理のマナーを引き合いに出して、「面倒さや煩わしさが無く、各自が料理を好きな様に楽しめる」としっぽく料理を評価した記録も残る。

また京都、宇治、大阪といった関西地方の都市でもしっぽく料理と普茶料理が食されていた。

この頃になると、その内容は、日本料理、中国料理、南蛮料理が入り交った独特のものに変化していった。

江戸や京都で流行していたしっぽく料理は、次第に廃れていくが、後に長崎で復興する。

1900年

現在のしっぽく料理の様式と献立が成立する。しかし、1950年代には、南蛮料理、中国料理の様式を保つしっぽく料理が反時代的と批判を受ける。

完了

長崎研修旅行に行つて、
研修レポートの感想

今 健太

私は、卓袱料理について事前レポートを書きました。



研修旅行については、本格的な卓袱料理をみんなで食べようという事には、ならなかったです。

料理の値段が五千円〜七千円くらいだということでした。

2日目に行った食事屋で卓袱料理というか、似た卓袱御膳という1700円くらいのを注文しました。小皿のついていた何種類かの料理は、さし身、えびの天ぷら、肉だんご、豚の角煮、わっぱ三色ごはん、汁物、カットフルーツでした。

たくさんお皿があって、天ぷらと三色ご飯は食べてもらいました。

本格的な料理だったら、本当に食べ

きれないくらい小皿が出たと思います。

でも確かに、日本料理だけでなく、

中華と日本料理が混ざった様なものでした。

その他に食べ物の事については、やはり長崎ちゃんぽん、皿うどん、五島うどん、すし等を食べました。長崎ちゃんぽんは、麺が生麺のようで、とてもおいしかったです。皿うどんもあまり油っこくない揚げ麺でおいしかったです。

ちゃんぽん麺は、スーパーに行ってみたらちゃんぽんの生麺を39円で売っていました。その他、スープ、貝も180円以下で売っていました。

生麺を買って帰ったけど、冷そう品なので買いませんでした。

長崎研修旅行事前レポート

孫 悟 麺

このレポートを書くにあたって、テーマを何にするかかなり考えました。

原爆投下に関する考察はほかの人が散々書いてきたから今さら、とは思ったのですが、自分のための事前学習なので、最大のテーマである原爆関係は

外せない、とは思いました。

そこで、いくつかレポートのテーマ候補が浮かびました。

まず、長崎出身のミュージシャンである福山雅治とさだまさし。

福山雅治については、2009年のラジオ番組で、被爆二世だということに言及していました。

（それ以前にもカミングアウトしていたそうですが…）

ただ、長崎や原爆、平和に関する歌などを調べても出てこなく、（歌詞にさらっと込めている可能性はありますが）あまり多くは書けなさそうです。

次にさだまさし。さだまさしといえば何といっても1987〜2006まで開催された「夏、長崎から」のコンサートですが（2007年は8月9日に「夏、広島から」を開催しました）、ほかにもウィキで検索したら面白いエピソードがたくさんあるのですが、原爆というテーマにこだわればちょっとはずれてしまう気がしてパスしました。

ほかには軍艦島（端島）も候補にしました。

高度成長期までの繁栄と閉山後の廃墟化。その陰での労働問題なんかは興味深いですが、別の機会にしようと思いました。あとはハウステンボスやグ

ラバー邸、長崎グルメのちゃんぽんやトルコライスやカステラなども考えましたが止めました。

あと、コルベ神父については書きたかったのですが、機会があればにします。

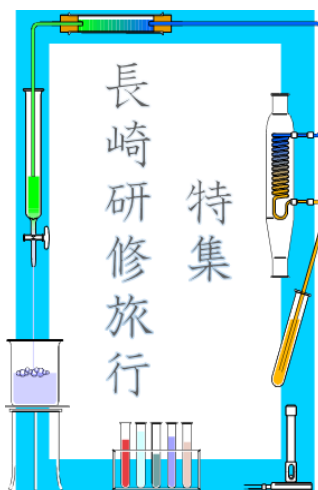
前置きが長くなりましたが、テーマは、「長崎原爆と映画（とりわけ「この子を残して」）」についてです。

長崎の原爆を

テーマにした映画

（この子を残して）

長崎への原爆投下をテーマにした映画はいくつか撮られています。有名なのが「長崎の鐘」（1950、大庭秀雄監督）、「せんせい」（1983、大澤豊監督）、「Tomorrow 明日」（1988、黒木和雄監督）、「8月の狂詩曲（ラプソディー）」（1991、黒澤明監督）などなどがあげられますが、その中で、取り上げるのは、「こ





爆心地公園に設置された浦上天主堂の正門のレプリカ

一方、永井隆は、被爆者の救護活動に当たっていました。治療に全力を尽くすも、次々に亡くなってゆく被爆者たち。永井隆はやるせなさを感じていました。ツモと緑の遺骨を集めていた誠一は、緑の形見であるクルスを拾いました。そうして8月15日、事実上の終戦（事実上という

頃、妻・緑の妹昌子が訪ねてきました。女学校の教師をしていた昌子は、原爆が落ちた時に生徒よりも先に避難してしまい、ついてきた生徒は仲間を助けようとして目の前で死んでしまったのに自分は何もできなかった無力さを感じ、修道院入りする前に永井隆に会いに来たのだ、と告げました。その後、永井隆は何度か原稿を上げますが、GHQの検閲により、なかなか出版に至りませんでした。戦後から3年、ようやく許可を得て講談社から「長崎



かつての浦上天主堂。

の子を残して」です。理由は単純に長崎原爆関連で見た唯一の映画だからです。（実は広島も、「はだしのゲン」しか見ていないのですが…）「この子を残して」は、原作が永井隆（長崎の鐘も同じ作者）、監督が木下恵介で、1983年に公開されました。配給は松竹です。当時中学2年だった自分は、養父から（どういうわけか）薦められて今はマンションになって跡形も無くなった八王子の松竹映画館まで見に行きました。この作品は、長崎で放射線医を務めていた永井隆の自伝的作品で、残り少ない寿命と引き換えに書かれたものです。まず、あらずじです。放射線医をしていた永井隆は、長年のエックス線による被ばくですでに白血病に冒されていたのですが、精力的

に仕事を続けていました。妻の緑は、何度も仕事を休むよう説得しましたが、永井隆はなかなか聞き入れません。そんな中、長崎近辺の空襲も激しくなってきたので、永井隆は、2人の子供を妻の母、ツモのところへ疎開させることにしました。そして迎えた8月9日、息子の誠一は、長崎の市街地から激しい爆風が襲ってくるのを感じました。見れば大きなきのこ雲。緑の母、ツモは様子を見に行くと、永井隆の妻、緑はすでに亡く、残されたのは骨ばかり。ツモは骨の一部を缶に入れて帰りました。翌日、ツモは誠一ともう一度長崎へ。永井隆の自宅があった場所に小さな十字架が立っていました。ツモは前日に永井隆の安否を確認していたのです。

のは、実際には戦闘は9月2日まで続いていたし、完全な終戦である講和は1951年だったからです。このとき永井隆は、2人の子供のため、子供の母である緑の思い出を遺すため、またおそらく自分は子供の成人を見届けることなく死ぬであろうという無念から、自分の体験を執筆しようとした。子供が再び学校に通うようになった頃、妻・緑の妹昌子が訪ねてきました。女学校の教師をしていた昌子は、原爆が落ちた時に生徒よりも先に避難してしまい、ついてきた生徒は仲間を助けようとして目の前で死んでしまったのに自分は何もできなかった無力さを感じ、修道院入りする前に永井隆に会いに来たのだ、と告げました。その後、永井隆は何度か原稿を上げますが、GHQの検閲により、なかなか出版に至りませんでした。戦後から3年、ようやく許可を得て講談社から「長崎



在りし日の永井隆

の鐘」を出版することができました。翌年、表題作でもある「この子を残して」が出版されました。その内容は、原子爆弾による理不尽な殺りくへの怒り、また妻を一瞬で亡くした悲しみ、2人の子供を残して逝かなければならないやるせなさにあふれるものでした。そして1951年、永井隆は、43歳でこの世を去りました。その翌年、妻・緑の母ツモも亡くなりました。息子誠一は、報道記者になったそうです。と、このような感じです。感想はといえば、内容については実は記憶がもうおぼろげでした。（あらずじは、映画サイトの記述を頼りに、自分の記憶と照らし合わせて書きました）



永井隆記念館（この次は是非訪れたいです）

それでも鮮明に残るシーンがありました。

ひとつは、永井隆が被爆者救護にあたって最中、夜中に子供の被爆者が腹痛を訴え続け、翌朝には亡くなっていた場面です。

永井隆は、その子供に自分の息子を重ねて見ていたみたいです。

もうひとつは、ラストシーン。浦上天主堂の真上で原爆が炸裂し、木っ端みじんになる天主堂。そして次々に映し出されるたくさんの被爆者、それらとてもリアルでした。峠三吉の原爆詩集から「にんげんをかえせ」、原民喜の「水ヲ下サイ」が歌になって、その

シーンに流れていたのと合わせて、今でも記憶に残っています。中学3年になって、修学旅行先は広島だったのですが、事前学習が、今回のレポートのように入課されたのですが、この映画の舞台が長崎だったのもあって、当時はレポートのテーマにはしませんでした。

同級生の中に、この映画を観た人がいたかどうかは定かではありませんが、級友との話題にも乗せることはありませんでした。

その後も一度もこの映画について話題にすることもなく、今に至っています。自分が観に行ったとき、映画館は、ほとんど空席でした。

興行的にははっきりいってヒットはしませんでした。

結局誰ともこの映画についての思い出を共有することもなく、現在に至っています。

それでも1983年当時のキネマ旬報では邦画部門で12位という評価になっていました。

キャストは、永井隆に加藤剛、妻の緑に十朱幸代、妻の母ツモに淡島千景、妻の妹昌子に大竹しのぶ、成人した息子誠一に山口崇、などなど…といったところでした。

興行的にヒットしなかっただけであっ

て、販売されているメディアは探すのが困難な状況ですが、木下恵介生誕100周年記念の木下恵介全集第6集に収録されています。

再評価されてもいいはずの作品です。レポートについては以上です。

長崎研修旅行 まとめレポート

孫 悟題

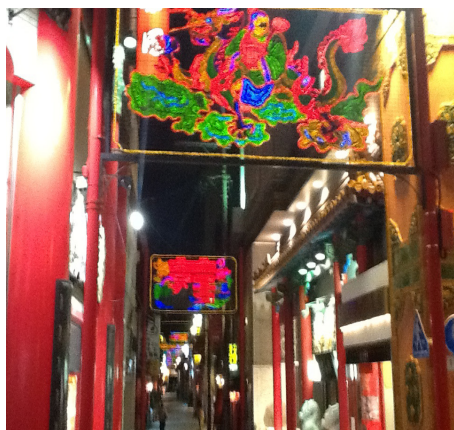
8月7日水曜日、百馬ラーメン店の清掃を終え京王八王子駅に集合。Nさん、堀さんの両名はすでに到着して待っていた。京王線で新宿へ向かうも、堀部さんは12時を過ぎての到着になるという。

予定時間を10分ほどオーバーしたところで「大戸屋」の新宿店で昼食。

羽田まではバスがお得ということでチケットを買う。しかし、首都高が混んでいるというので喫茶する間もなく羽田へ直行。

羽田での飲食は高くつくだろうという予測に反し、コンビニもファストフードもあった。

結局、フライトまではかなりの時間が



長崎中華街入口（関帝さまは拝めず…）

あったので、余裕を持って行動できた。あとは手荷物検査だけで搭乗待ちというところで、着用していた寅巻のベルトが見事に反応。外して再びゲートへ。クリア。実はこのとき飛行機の搭乗は初めてだったので、少し不安になる（ヘリなら乗ったことはあるが、ヘリの方がよっぽどスリリングだったにもかかわらずである）。満席によるダブルブッキングのトラブルのせいか、20分以上遅れての出発。フライト中の席は真ん中辺の列だったためか、飛行機の揺れしか感じられず何か一抹の物足りなさを感じて長崎着。

ここからまたバスを利用して本日の宿泊地へ。

予定していた当事者団体との交流会が中止になったので、チェックイン後すぐに中華街へ。しかし閉店間際の店が多く、手近な店ですませたが、おい

しかった。

その後、市内を散策して翌朝の朝食を確保。そこで買ったおにぎりもまた、おいしかった。

ダイエーに寄ってから、ホテルに戻り、堀部さんの部屋でしばし歓談。12時を回って就寝。ホテルは快適なもの。

8月8日木曜日。9時には集合。ホテルに荷物を預け、長崎原爆資料館十平和祈念館へと向かう。今回の研修旅行で、足として非常に役立ったのが、市電（路面電車）だった。朝一入場だったので、ゆっくり見学できた。

静寂の中、足音と時計の針を刻む音だけがいつそう胸に迫ってくる。

原子爆弾（以下原爆）は、たった一発でひとつの都市への大空襲に匹敵する威力だが、原爆はそれだけにとどま



中華街で食べた「海老ごはん」



投下時間で停止した壁掛け時計。

らない。まず熱線。身体中の水分が一瞬で沸騰するほどの超マイクロ波が襲ってくる。これが広範囲の生命を奪う。そして爆発エネルギー。空襲の後のような破壊をもたらした。その爆発エネルギーは、熱された空気とがれきや土ぼこりを巻き上げきのこ雲を形成し、そして放射能を含んだ黒い雨となって地表に降り注ぐ。（ちなみに広島資料館では黒い雨の跡は展示されていたが、長崎では確認できなかった）

資料館は、遺品だけがそこに展示してあるのだが、長い時を越え、無言の訴えをしている。特に着目したのは、キリスト教徒関係の遺品だった。

そう、この戦争はキリスト教徒がキリスト教徒を殺したのである。

確かに、歴史上、そんなシーンは幾度もあっただろう。でもここでは、壊れた天主堂の一部が、とけたロザリ

オやマリア像が、訴えかけている。神がいるならば、これは神の声を代弁しているに違いない。

見学後、平和公園を散策。川の治水壁に、世界の子どものたちの絵が張ってあったが、「ゲルニカ2013」という企画名はちょっといただけないセンスだと思った。

爆心地、原爆当時の地層、浦上天主堂の門の一部を見て、さらに坂を登って平和の鐘、平和の像を見た。次の日には、慰霊行事で近づけなくなるだろうから。

その後、ショッピングモール内の五島うどん店で昼食。福祉センターで反戦集会。

正直な感想を言うと、あまり盛り上がっているような印象ではなかった。もしも、これが本気の活動だとすれば、「国民の敵は国民」という事態もいずれ来るのではないかと思った。

反戦集会中に合流した理事長とこのあと、稲佐山へ。

ロープウエーは初めてではないはずだったが、前回は何時乗ったのか記憶が定かでない。

頂上展望台の景色は高所恐怖症の自分でも、とてもよかった。建物が小さく見えて、案内板がないとわからないほどだった。夜はよほどいい眺めに違



稲佐山の猫さん。もふもふしたい。

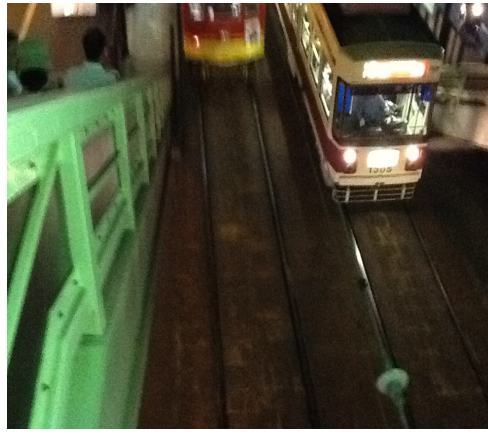
いない。Nさんが外国の観光客と会話しているのを見て、英語力の必要性も感じた。（実は、米軍関係者とは何度か握手したことはあるが、みんな共通して握力がすごい）その後、「ひぐち」という店で夕食。トルコライスを食す。（ほんととはあちこちで食べてはみたかった）初日のホテルで荷物回収、このときに理事長とはいったんお別れ。次のホテルへ。またもダイエーで食材を買い、堀部さんの部屋で歓談。真面目な話も、そうでない話もできてよかった。

12時過ぎ就寝。快適だった。

8月9日、金曜日。いよいよ最終日だ。6時には起床して、出かける準備をして朝食に。

ビュッフェ形式の朝食バイキング

は、起きぬけにもかかわらずたくさんのお客。
おいしかったので、案外多く食べられた。朝鮮人被爆者追悼碑で集会。思うところはあがあるが、ここでは言及しない。その後、2日目に引き続き平和公園内を散策。
同じところを被って見たらというの



とにかく、電車を撮りまくっていた3日間だったような気がする今回の研修でした。



山里小学校の防空壕跡。

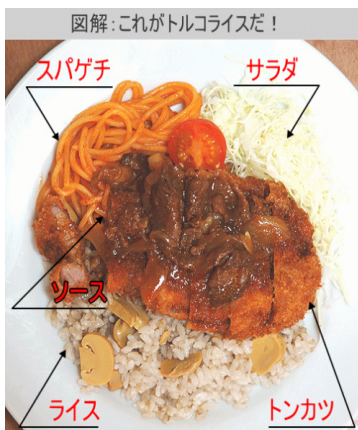
もあつたが、注意して見ると、慰霊碑や、祈念碑が多く建てられているのがわかった。その後、浦上天主堂の鐘楼、山里小学校と回って長崎駅へ。当初予定していた城山小学校や、浦上天主堂資料館、永井隆博士が著作のために結んだ庵などの史跡は、見ている時間がなかった。
長崎駅周辺の中華料理屋で昼食。店のテレビでは、ちょうど安倍首相が平和の像の前で宣誓文を読んでいるところが映っていた。長崎駅からは、バスが混んでいて、予定よりかなり遅れた。おかげで帰りのフライトぎりの時間で空港到着。
お土産をじっくり選んでいる余裕などなかった。もっとも、お金がないので問題はなかったが。
16時半ごろ羽田着。17時発の京王八

実際に、ためになる研修旅行だった。課題が残るのも一つの勉強。
自分の個人的なことでは、もうちょっとホテルでのんびりしたかったこと、市電であちこち回りたいかったこと、長崎ちゃんぽんやトルコライス、ハトシなどを食べ比べしたかったこと、リフトのある街並み、稲佐山の夜景、それと今回周れなかった原爆史跡、出島の歴史機構、ほかの歴史的建造物や史跡、見たかったもの、感じなかったものはたくさんあった。京都や奈良がそうだったように、長崎も、日数をかけてゆっくり回れるのがいいのでしょうが、「ほっと」での仕事もあるし、そうも言うてられないのが現状である。本文で書いた以外に印象に残ったこと、あちこちにあるアイス屋



夏限定の長崎名物アイス。

王子行きの直行便で帰るも、首都高を抜けるのに2時間はかった。19時過ぎに京王八王子着、解散。



長崎名物のB級(?)グルメ、トルコライス(左)とハトシ



い。
でもそれがまたいいのかもしれない。(終わり)
さん。コーンの上にシャーベット状のアイスをバラの花状に盛ってくれる。味もおいしかった。もっとたくさん食べたかった。
それと、一期一会ではないけど、折々で感じられた長崎の人たちの人情。夜の繁華街が案外不健全な感じがした。でもそれら全部ひくるめて言えるのは、「長崎はともい街だった」ということ。でも住むにはちょっと不便かもしれない。



ー美味しい韓国家庭料理、
海上自衛隊料理
ー昼食会のお誘い

安兵衛

「ほっとスペース八王子」は4月から毎日昼食会を行っています。

月曜火曜日は韓国家庭料理を在日の方が手に攪りをかけて、作られています。

例えば、チヂミはコンニャクを角切りして合挽き肉と炒めて凍らせる、凍ったコンニャクと合挽肉をミキサーにかけ粉砕した後、強力粉に入れてニラを加え、焼きます。

海鮮チヂミは粉もまた違います。美味しい秘蔵のレシピも教えてくださいますよ。

本格的なビビンパツも美味しいですよ。

卵焼きも味噌汁も一味違います。

他方、元海上自衛官の海軍力レーは



メニューのその1。スパゲティカルボナーラ、ミネストローネ、水菜のサラダ、イチゴ（デザート）

じめ美味しいメニューも盛り沢山。例えば、先日のお誕生会は握り寿司を一人当たり一五貫近くで、お腹一杯になりました。デザートには手作りシフォンケーキで、別腹とは言っても満腹になりました。

是非、お試しあれ。

昼食会について

堀 正明

二〇一三年度（四月から）、夕食会から昼食会に変わり毎日食事が出るようになりました。

担当がボランティアの村里さんから、非常勤のSさん・Aさんに代わりしました。

昼食会になってから、Sさん・Aさん二人、もしくはSさん一人で調理する事が多くなりました。

午前中はプログラムがないため参加者が少ないのです。

それでも昼食の時間は一〇人近く参加する事になります。

Sさんが担当する様になって、村里さん時代の家庭料理から、創作料理へと大幅に変化しました。Aさんの影響で韓国料理が増えています。

料理の特徴は、毎食大皿一杯のサラダが出る事です。

村里さんの時代に比べて皿数は大幅に減りました。

でも毎日おいしい昼食をいただいています。

Sさん・Aさんありがとうございます。



メニューその2。きつねうどん。（これで1食100円！！）

昼食会について

菊池 春海

退院したら八王子市の八幡町にある、ほっとスペース八王子に、又通所する事にしました。この前迄はたまに夕食会だったけれど、今は、Sさんを中心に昼食会をやっています。Sさんは人一倍大いなので、どうしても、ボリュームが多いです。

でもたっぷり食べるので、夜は軽くしてすみます。

ありがとうございます。

昼食会

UFO

昼食会に月1回参加しています。料理がおいしくて、参考にして自分でも作ってみようと思います。これからも、昼食に参加してえいようをとりたいと思います。

おおぜいで食べる昼食はおいしいです。

昼食会について

山口 咲子

今までお昼ごはんは、おにぎり1つだったけど、昼食会になったら色々なおかずが出て栄養的にもバランスがとれるのいいと思います。

食べているときは、あまりに美味しいので、食べるのに夢中になってしまい、後になって、これといった感想が思いつかなくなってしまうって、それがとても残念です。でも、いつも昼食を作って下さるAさんSさんにはとても感謝しています。

昼食会について

リネカー

昼食会は私の好きな時間の一つです。

SさんとAさんが、美味しい料理を作って下さり、大変感謝しております。値段も三百円とリーズナブルな価格で、大変満足しております。

韓国料理は、Aさんが作って下さり、毎回、大変おいしく頂いております。又、Sさんが作る料理も男らしい料理で、とてもおいしく、又、とても楽しく頂いております。

普通の韓国料理では、絶対に三百円では食べられないのですが、ここでは



メニューその3。パン、クリームシチュー、サラダ（ツナ）、フルーツのヨーグルト和え。（コーヒーは本人持参のものです）

三百円でおいしい韓国料理が食べられるので、大変満足しております。

又、A先生の上手な日本語と人柄にも、素晴らしいと思います。

又、Sさんとてもいい方で毎回おいしい料理をふるまって下さり、とてもうれしく思います。

これからも、昼食会を末永く続けられる事を、心から念願致しております。

昼食会について

ほっとスペースのボブ・ディラン

「昼食会」について何か書いて欲しいという依頼がありました。

僕は「昼食会」にほぼ毎日参加しています。料理人はSさんとAさんです。Aさんが居る時には韓国料理が食べられるので、とても楽しみです。「ビビンバ」なんて美味しいですね。

Sさんだけの日も、量が多くて美味しい物を食べられるので、満足です。また、値段が300円と安いのも魅力の一つですね。料理をされる方が仕入れに気を使っているから、安いのでしょう。料理を手伝って欲しいという声を聞きますが、まあ手が開いていれば手伝っても良いと思っています。現在でも食後の皿洗いはやっています。



メニューその4。カレーライス、ゆで卵、野菜サラダ。定番メニューの1つです。

自分の分だけですけれども。

この「昼食会」が今後も続いて行く事を希望しています。

昼食会のいつ

孫 悟 麴

年明けから前年度（2013年3月）まで、暫定的に不定期ながら昼食会を試験的に行ってききましたが、今年度（2013年）から、本格的に昼食会を開始、同時に作る側として従事させていただきます。初めてのうちは、栄養バランスよりも「自分が作りたいもの」を中心として献立を考えていきました。今でもその傾向は大

きく残してはいませんが、「自分が試したいメニュー」、「バランスの取れた献立」も少しは意識できるように頑張ってきました。いずれにせよ、自分が作る際には、「気持ち」を込めて料理する姿勢には変わらないということです。食べてくれる人の「美味しい」という言葉が、すべてのモチベーションを代弁してくれるといっても過言ではありません。メニューを考え、食材を買い出しに行き、仕込み、料理をし、さらに食事会計を算出する、この一連の作業を改めて振り返ってみるにつけ、大した労力の仕事を長く続けられるなあとひしひしとします。（そういった意味では、プロの料理人はまるで神のごとく存在です）

今後も昼食会の係として「かなりオシ流」ではありますが、創意工夫、美味しい料理を作るべく、一層奮進する所存でありますので、食べていただくかたも、よろしくお願いします。

それともう一つ、昼食会は二報あれば、どなた様でも参加できます。併せてよろしく願います。

（補足：ほんとスパス八王子で出されている料理はここで紹介されているほか、フェイェスブックでもご覧になることができます）

A collection of Japanese dishes including a plate of nigiri sushi (salmon, tuna, and white fish), a bowl of white rice, a bowl of miso soup with tofu and seaweed, a bowl of vegetable soup, a bowl of cucumber and seaweed salad, a bowl of pickled vegetables, a bowl of miso soup with seaweed, a bowl of miso soup with seaweed, and a bowl of miso soup with seaweed.

メニューその5。4点盛（ちくわ、かまぼこ、ばちマグロ、明太子）きゅうり酢の物、水菜ひたし、卵豆腐、味噌汁、フルーツヨーグルト

得意なのは韓国料理だけじゃないよ

A
•
M

私は（月、火曜）の 昼食会を担当
しているAと申します。

日本食（和食）も得意ですが、アジアのどころかエスニックの料理も得意です。

同じく昼食を担当しているSさん

と、切磋琢磨しながら美味しい料理を提供しております。

どなた様でも、一食300円で昼食を提供しておりますので、お近くを通りの際はまず電話を一報の上お越し下さいませ。

肝っ玉姐さんで頑張ります

Y
U
R
I
M
A
M
A

最近、ここ『ほっとスペース八王子』の仲間になりました。

初出勤はとっても緊張していましたが、みなさんにあたたく迎えていただいたおかげで、午前中で緊張がほぐれました。職員さん、利用者さんに感謝です。

入社から一週間、少しずつですが場数を踏んで参りました。

ぶつつけ本番、初めてのことで清水の舞台から飛び降りる気分もいくつか経験してきました。

毎日の昼食会はとってもアットホームで手作りのお料理には感動。

私みたいな主婦兼労働者は自分以外の人が作った料理を食べるのは数倍くらいにとっても美味しく感じるのです。

この時間はわたしにとって勤務中の癒しの時間です。これからは、PSWと

しても皆さんと関われるようになれば大変うれしく思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

よろしく願います

早く仕事を覚えたい

C
O
W

7月の末からこちらでお世話になっています。

慣れないことや、分からないことばかりで、ご迷惑おかけしています。早く仕事を覚えて皆さんのお役に立てればと思います。

これからもどうぞよろしくお願い致します。



メニューその6。ナムルセット（もやし、大根、人参、ほうれん草、白菜）たくあん、ソーセージ、玉子スープ。



今年の目標

秋山 健太郎

今年は、昨年に引き続き、小説執筆を、日々続けようと考えています。

私の少年時代から青年時代にかけて、私をとりこにした詩との関わりを中心に書く積りです。

初めて詩というものに触れた驚ろきと恐れ。初めての詩作。

次に、目標としたいのは、体力の回復。以前のように、毎日1時間はジョギングが出来るようになったらと希望しています。

第3に、旅行。桜の咲く頃、新潟の佐渡ヶ島で、民宿を経営している先輩がいます。校長を退職して故郷に帰り、米作と漁業を始め、民宿「甚平」を開

店させたそうです。

今から楽しみです。

さて、夏は、香川を訪れ、さぬきうどんを食し、小豆島をたずねたいと考えています。

旅のおわりを沖縄とし、再度、ダイビングに挑戦したいと思っています。

又、母の故郷である北茨城に行き、義兄の墓に花を手向ける予定です。

「仕返しはしないが、 恩返しはする」

よかいち

恩を知る。

自分の周りからやってもらった事とやった事を比べ、やってもらった事の

方が多いと地獄落ちだと昔、本で読んだ事がありました。それを、読んだ時「ああ、それもそうだな」と感じました。

僕は恩と言う事に無頓着で、いつも自分の自己実現ばかり考え、人にしてあげた事もあったがそれは自分の我によって発散する事ばかり考えていました。それゆえに自分の感情の満足ばかり追い求め、結局のところ社会や環境に適應できなくなりました。真面目に真剣に、苦しみの代価の代わりに自分の自己満足を求めてしまいました。それにより自分の自由が利かず、西遊記の仏様の罰と同じ、孫悟空のように身動き出来なくなりました。

人に嬉しさの感情を持つてもらう事により、自分の我欲を満たす事よりも、自分の我に捕らわれず人に捕らわれず、何かの為になっている事により、自分の気持ちすがすがしく感じ、自分が楽になる事を感じられるようになりました。

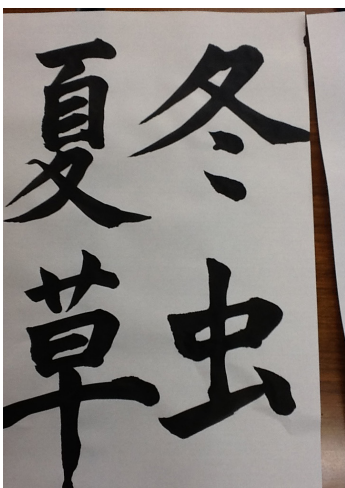
それで無責任ではありますが、自分にも人にも軽い気持ちでやるようにする事で、執着が取れながら気持ちがすっきりします。

幸せとか悟りとかは、自分や他人に執着せず、人も自分も嬉しくなる。それが神仏様の心に願いに思います。至らない自分ですが、人に善い事をして貰い、恩を返せば、きっとみんな幸せに思います。自分の我を押し通し、人に恩を返さなければ、いずれ身動きの取れなくなる大きな山を背負う西遊記の孫悟空のように思います。

だから作業所は国や都や市のお金をもらっているの、いつか国や都や市に恩を返せる作業所にしたいです。そしてすべてを愛する心になりたいです。

「仕返しをしないで、恩返しはする。」その生き方を信条にしてこれからもほっとスペース八王子や、国や都や市に恩返ししたいです。

すべてが善くなる為に生きたいから僕は恩返しが出来るように生きます。



日々雑感

日々雑感

堀 正明

今、原稿を書いているのは九月一日です。

グループホームの入所も一年を過ぎました。先日は体が大きくなったので3Lの冬服を職員と買いに行きました。平均入所期間は二年、折り返しを迎えた気がします。

辛抱して過ごしていきたいと思えます。

朝夕もめっきり冷え込むと、かつて



の秋について思い出す事がたくさんあります。順に書いていきたいと思えます。

私は大分市出身ですが、父の公務員宿舎から一戸建てに引っ越したのが、小一（一九七八年）の二期です。本当は私の入学に合わせて引っ越したのですが、大工さんの都合で遅れました。水彩セットや鍵盤ハーモニカがクラスメートと違うので辛い思いもしました。

小学校（大分市立横瀬小学校）の秋といえば、何といっても運動会の練習です。

一・二年はレコードに合わせてダンス。三年は「マイムマイム」・「銀河鉄道999」、四年は創作ダンス（田植えから稲刈りまで。村祭り）、五・六年は組体操でした。

中学校（大分市立わざだ西中学校）では吹奏楽部に入ったので（ホルンを担当）、体育大会の入場行進や文化祭の発表が加わりました。中学校のグラウンドに照明があり、午後七時から市民団体に貸し出すので、帰りが運動部よ

り遅くなりました。

クラス対抗・学年合唱コンクールで一・三年と優勝したので（ハクラス）文化祭の他、研究授業でバスで出かけて歌っていました。文化祭のクラス発表では、一年は「恐竜」、三年は「食品添加物と公害」について展示、二年は劇「山椒大夫」でした。

小六の時、テレビの映りが悪いのでブースターをつけたら、県外のテレビが次々と映るようになりました。夕食のあとすぐ寝て、親が寝静まるのを待って、深夜番組を楽しんでいました。当時はビデオがなかったのですが、各局のクロージング・オープニングは、はっきりと覚えています。

中二から中学卒業まで進研ゼミをやっていました。添削問題やお便りを送るのに、家から六kmある大分南郵便局に行って、風景印を押すのが楽しみでした。

お便りもよく採用されていたのですが、ペンネームをその都度変えていたので、

同じ中学でも「常連」とわかる人はいなかったです。

中二の秋（後期）は学年文化委員長だったので、文化祭実行委員会で連日学校で仕事をしていました。中三（前期）は生徒会長だったので、吹奏楽部

はやめました。が、体育大会の準備で忙しかったです。

更に中二・中三と英語弁論・暗唱大会に学校代表として出場することになり、先生につきっきりで特訓になりました。帰宅が午後一〇時を超えることもあり、そのまま先生に車で送ってもらった時もありました。

高校（大分県立大分豊府高校・一九八七年入学）は大分市中心部に近かったため、学校が終わると県立図書館・市民図書館に向かいました。勉強は全くやらず、珍しい本を探しては読み漁っていました。まだコンビニが大分にはない頃で、親にお金をもらっては、スーパーで菓子パンを買って食べてました。



大分県の県鳥「メジロ」

高二（一九八八年）、昭和天皇が突然倒れ、NHK第一で深夜にクラシック音楽が流れたり変な時代でした。

高三になって（一九八九年）、RFLラジオ日本（一四二kHz）の「演歌しかやらない」独特な深夜放送にはまって、受験に失敗してしまいました。

浪人して北九州市に住むようになってから、周波数の関係でラジオ日本が聞けなくなったのですが、「ラジオ日本が昼間聞ける関東地方に行きたい」と大学進学が狂ってしまいました。

浪人してたときは、あるセクトの活動をしていたので、集会・学習会が終わって予備校の寮に送ってもらったりもしました。市立中央図書館も近く閉



大分といえば中津のからあげ。

館の時間までいることもありましたが、あいかわらず勉強せず本ばかり読んでいました。

大学入学（一九九一年）の秋に、ふとしたはずみで新聞販売店に電話したら新聞奨学生に採用され、そのまま二年半配っていました。奨学金三十万円は、そのまま運転免許取得費用に消えました。

大学一年・二年はアイドルのイベントや政治の集会で楽しく過ぎました。大学三年（一九九三年）に細川さんが首相のとき「政治改革」（小選挙区制）が持ち上がった時、うつ状態になり、大学の寮（敷地内）から一歩も出られなくなりました。

それでも一月の明治公園の集会に民青同盟の仲間と参加し「赤旗」の一面の写真に載りました。

大学四年目（一九九四年）は休学し



豪華列車「ゆふいん号」で行く旅

ていました。普通自動車免許取立てで、8ナンバーのマイクロバスを運転していました。

浪人していた時のセクト活動していた時の「先輩」と一緒に、考古学の史料、中国・韓国・北朝鮮の本を売り歩いていました。

大阪を起点に、北は富山・東は名古屋・西は徳島まで行っていました。

大学五年目（一九九五年）の秋、前年お世話になった「先輩」を訪ねて大阪に行ったのですが、奈良県内の山中を迷い歩いていた所を保護され、都立府中病院に医療保護入院になりました。

大学を中退して大分市の実家にいた頃（一九九六年～二〇〇六年）は九〇ccのバイクで、よく遠出をしていました。県内はもとより北九州・下関まで日帰りしていました。

福岡市はバイク日帰りは無理なので特急「ソニック」で行っていました。二〇〇六年に東京に戻ってからは、生協の「産地めぐり」のツアーに参加したこともあります。

秋はどこへ出かけるにも気分のいい季節です。

いまはグループホームで制約のある生活ですが、退去したら気ままに出かけたいですね。

八王子まつり

UFO

毎年、八王子まつりに参加しています。おまつりの準備の手伝いをしています。山車ひきまわしたり、受け付の手伝いもします。

八王子まつりは、毎年3日間かさいされます。毎年あつくて大変です。八王子まつりが3日間でおわります。かたづけが大変です。子供のときから、八王子まつりの山車をひいています。毎年8月の始めになると、忙しいですがたのしみです。



八王子まつり。なんやかんやで大盛況で人いっぱい。

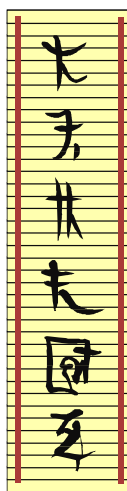
家庭内の事に対しての 第三者のあり方に関して

ポタンコ

私は、他の家庭内の事に対して、責任も負えないにもかかわらず介入し、無責任な事を言われる人が許せません。私自身、家庭内で様々な問題を抱えている時、母の友人が家に介入し、母自身が「お宅の息子さん考え方がおかしいんじゃないですか?」と言われたと言い、母は、その母の友人に同調してから、ますます親子の、関係が悪化し、結果、母は家を出ていってしまいました。

家族間のみのトラブルであれば私自身、納得のしようも出来ませんが、第三者の方の介入も絡むと家の状況をどのように受けとめて良いか分からなくなります。

このような私自身の経緯から、他人の家がどのような状況であれ、無責任に勝手な事を当事者に言うものではないと考えますし、また、そのような事をする人を疑いもします。



旅行レポート

ぶらり一人旅紀行(田沢湖スキー、神戸六甲山)

田沢湖へのスキー旅行

ほっとスペースのボブディラン

2012年12月30日午前6時起床し、コーヒーを飲みランチパックを食べた。午前9時頃アパートを出た。12時30分頃の秋田新幹線「こまち」に乗って、秋田方面へ向かった。車中は、駅弁を食べたり、本や新聞を読んだりして過ごした。

田沢湖駅についたのは、午後4時近くだった。バスで宿の前まで行った。



宿に着くと、宿の人が暖かく迎えてくれた。毎年おなじみの顔である。

男2人部屋で、顔なじみの人と同じ部屋だった。昨年行けなかったけれど、

3シーズンくらいその人と顔を合わせている。

12月31日、朝9時15分にバスで宿からスキー場まで行った。レンタル・スキー屋で板・靴・ストックを借りた。レンタル・スキー屋にもおなじみの顔があった。

31日は朝から晩までシンシンと雪が降っていた。おかげで、田沢湖スキー場は寒かった。

あまりにも寒いので、たくさん休憩をとった。特にグレンデの中腹にある「ギンレイ」という所で休んだ。頂上近くはふぶいていて前が見えなかった。



美しき絶景かな、田沢湖をのぞむ

頂上には一回だけ行った。後は、下のなだらかな所で滑っていた。夜は紅白歌合戦を見て、しゃべって過ごした。

2013年1月1日、スキー場は晴れ間が少し見え、頂上の方で雪がパラパラ降っている程度だった。

この日はクワッド・リフトとペア・リフトを継いで、頂上までたくさん行って滑った。

午後4時に上がり、レンタル・スキーを返して、近くの水沢温泉に行き、暖まり疲れをとった。

宿に帰ったのは午後6時過ぎだった。

1月2日、12時半頃の新幹線で東京に帰って来た。

来年もまた行けると良いと思う。

「神戸」に行ってきた。

ほっとスペースのボブ・ディラン

8月13日(火)から8月16日(金)まで神戸旅行して来ました。行きも帰りも新幹線「のぞみ」を使いました。宿は神戸たるみユースホテルに3泊しました。2人部屋だったので3泊とも他人と一緒にしました。13日と16日は移



♪神戸え〜（前川清調に）

動に使い、14日と15日は観光に使いました。14日はケーブルカーで六甲山に登り、バスで六甲山牧場に行きました。ヤギ、羊、牛、馬等を見ました。15日は市内観光をしました。見た所は北野異人館（うろこの家、風見鶏の館）、メリケン・パーク、ハーバーランドです。この他にもホステルの近くの「たるみ漁港」や「アウトレット・パーク」も見学しました。

いずれの場所も景色がとても良かったです。また、一番の思い出と言えば、メリケン・パークのオリエンタル・ホテルのレストランで¥30000くらいのコース料理を昼食にしたことです。3種類の牛肉を食べました。とても美味しかったです。

東京から新神戸まで3時間からなので。また近いうちに訪問出来たらと思います。

気候はとても暑かったですけど、とても有意義な旅行でした。

月島で有楽町線に乗り換え新木場まで行きました。そこで京葉線に乗り換え海浜幕張で降りました。そこから歩いてQVCマリン・フィールドまで行き、途中で券をリストバンドに換えてもらいました。

もうすでに人でいっぱいでした。手荷物検査もありましたが、QVCマリン・フィールドの1席までたどり着きました。スタンドの売店でおにぎりを買いました。

8月10日（土）午前8時頃自転車で家を出て京王八王子駅に行きました。京王線で新宿まで行き、新宿で都営大江戸線に乗り換え、月島まで行きました。

ほっとスペースのポップ・ディラン

2013年 サマーソニックに 行ってきました



2013 サマーソニック



VOLBEAT。デンマークの実力派。



午前11時に開演でした。おなががすいていたので、開演とともにおにぎりを食べてしまいました。漬物とからあげも付いていました。

午前11時からはVOLBEATというバンドが登場しました。外人のバンドでビートのきいた曲を演奏していました。13時5分からはONE OK ROCKというバンドが出て来ました。

日本の若者のバンドで、知っている



マキシマム・ザ・ホルモン。日本の本格的ハード・ロッカー。

る人は知っているという感じでした。13時10分からはマキシマム・ザ・ホルモンというバンドが登場しました。リズム体がしっかりしているバンドで顔を上下に振ったりしてアクションも激しかったです。14時に終了したので、球場を出ました。駅の近くまで戻ってベローチェという喫茶店に入ってケーキセットを食べながら喫煙をし、文庫本を読んで休憩しました。

今度幕張メッセのソニック・ステー



ONE OK ROCK。

で、幕張メッセの中の売店で唐あげ丼を買って夕食にしました。また、QVCマリン・フィールドに戻りましたが、人が多くて空席が見あたりませんでした。

LINKIN PARKというバンドの持ち時間でしたが、スタンドの裏で待って時間を潰していました。

18時55分から登場するMETALLICAというバンドを是非見たかったのですが、前のバンドの演奏が終わってもスタンド席が空きません。立ち

シに行きました。16時10分からMEWというバンドが演奏を始めました。フエンダーのテレ・キャスターを使ったギタリストとボーカル専門のハイ・トーンが印象的でした。

17時半頃になってお腹がすいたので、幕張メッセの中の売店で唐あげ丼を買って夕食にしました。また、QVCマリン・フィールドに戻りましたが、人が多くて空席が見あたりませんでした。



MEW。デンマークのロックバンド。



Linkin Park (リンキン・パーク)

見もできない状態です。

しょうがないので、あきらめて今度とはとりにあるガーデン・ステージに行ってみました。21時10分から始まる山崎まさよしを観るためです。19時10分頃ガーデンに着きましたが、オープニングまで2時間ぐらいあります。仕方が無いので、売店でお好み焼きを買って食べたり、芝生の上に立ってタバコを喫ったり、最後にかき氷を食べたりして待ちました。

21時10分になりましたが、まだ始まらず、21時30分頃に球場の近くから火花が打ち上げられました。とても綺麗な火花が何本も打ち上げられました。「これじゃ、花火大会なんか行かなくても、大丈夫だ」と思いました。それから間もなく「山崎まさよし」のライ

京王新線ならまだ電車があるという事なので、新線の駅に行きました。最終の桜上水行きに乗りました。午前1時頃桜上水に着きました。

駅のまわりを見ると「ガスト」があっ

ブが始まりました。ボーカルとベースにライトがあたって演奏していました。知っている曲も何曲ありました。でも、収穫は「山崎まさよし」が意外とギターが上手いという事でした。左の後ろの方で、ずっと観ていましたが、22時30分頃に演奏は終わりました。

そこから駅まで歩いて帰りました。23時4分の電車（東京方面）に間に合いました。海浜幕張↓新木場↓月島↓新宿と帰りましたが、京王線の新宿駅に行ったら、最終はもう行っていました。



METALLICA (メタリカ)。ベテランのヘヴィ・メタルバンド。



山崎まさよし。日本を代表するバラード歌手。

たので、閉店の午前3時まで「ガスト」に居ました。午前3時にその店を出ると、今度は「セブン・イレブン」を見つけた。そこで申し訳程度に安い雑誌を買って、店の前の喫煙所で時間を潰しました。

近くでケンカみたいな物も起こりましたが、駅の開く午前4時半まで、そこに居ました。午前5時頃に高尾山口駅行きの電車が来て、それに乗りました。

やっと生き返った様な気持ちになりました。

8月10日（土）のサマーソニックは、とても長い一日でした。



大栗先生の超弦理論入門 （九次元世界にあつた 究極の理論）を読む

山海 珍味

最近ブルーバックスから「大栗先生の超弦理論入門」（副題 九次元世界にあつた究極の理論）という本が出版されたので読んでみた。大栗先生は現在、カリフォルニア工科大学の教授で、超弦理論の研究をしている物理学者だ。ブルーバックスが今年で創刊50周年ということで、重力と素粒子の世界を統合する超弦理論について書いたのがこの本に結実したようだ。

ブルーバックスは理系なので、こちら方面に興味がない方はなかなか手に取る機会がないと思うので、紹介がてら感想を書いてみた。筆者も理系ではないのだが、小学生のころ、理科の教科書に「宇宙は膨張している」とか「隣の銀河はアンドロメダ」とって私たち



メニューその7。冬瓜煮物+あんかけ、ほうれん草ひたし、明太子、冷奴、古漬け胡瓜、味噌汁。

最近の宇宙論は非常に活発で、衛星

の地球が所属している銀河から二百万光年（だったかな）離れている」というようなことが書かれており、子供心に「宇宙ってスゲーな」と宇宙に興味を持った記憶がある。

大人になってもそのことがきっかけとなって暇があれば「宇宙論」だけは手に取って読んでいます。



メニューその8。冷麺、バナナ牛乳。

からの詳細なデータ解析で、宇宙の成り立ちについてもかなりのことがわかり始めているように、たとえば観測データにより宇宙が誕生して約120億年たったという数字が特定されたり、我々の銀河のなかに地球型惑星が発見されたという報道も時々なされている。またヒッグス粒子の発見も新聞で大きく取り上げられたことも記憶に新しい。さらに理論面からも宇宙の成り立ちについて、興味深い探求が進められている。

この「大栗先生の超弦理論入門」は、宇宙の成り立ちを「超弦理論」から解き明かした本で、理系の人でなくても、つまり一般の人でも理解できるように書かれているということで、難解な数式や方程式を理解できなくても、それ



メニューその9。麻婆豆腐、きんぴらごぼう、玉子焼き、オイキムチ。

なりに理解できるというのが売りだ。読んでみて、やはりそれなりに基礎知識がないとわかりにくい点もあるが、大筋は理解できるというのが筆者の感想である。実際に結構売れているようで、物理学を専門に学んでいる人だけでなく、一般の方にも読まれているようだ。

詳細はぜひこの本を読んでいただきたいが、結論は驚くべきものがある。重力のホログラフィー原理により、現時点での「超弦理論」から導き出されたこととして、我々が存在している「この空間は幻想である」と大栗先生は記している。

「重力や、次元や、空間が幻想であ



ることは確かですが、それらが何から現れてきているのかについて、まだ根源的な理解には達していない」ので、今後は「それを明らかにすることが大きな課題です」と書いている。（P249）

「空間」が幻想であるということは、言葉を換えれば「この世は幻想である」ということなのではないのだろうか。

古代のヒンドゥー教の聖者・哲人たちはバーダントラ哲学で、「この世界はブラフマン（梵天）のマーヤー（幻想）である」と主張した。

また、仏教の開祖であるブッダは、華嚴経で「この世（三界）は意識が作り出した幻想である」とした。それから2500年後の現在、重力と量子力学を統一することの有望な理論であると考えられている超弦理論は「この空間は幻想である」と主張する。これはなにかの符合であるのだろうか。それとも古代の思想・哲学と現代の物理学の一致は、結論が同じだけの単なる偶然なのだろうか。

いずれにしろ、まだ結論はでないが、現代物理学の探求から目が離せない。

この20年から30年くらいの間で、人類の世界観、宇宙・時空に関する認識は大きく変容するのではないだろうか。未来の小学校の理科の教科書には、「私たちの住む宇宙（時空）は実体がなく、幻想です」と書かれているのかもしれない。



メニューその10。握り寿司（はちまぐろ、サーモン、ホタテ、コウイカ、ボイルたこ、ボイル海老、玉子焼き、まぐろたたき）、味噌汁、シフォンケーキ。調理担当者の本気です。

※おわびとおことわり

前号で予告していた鑑賞会「四重奏団」演劇「白いお地蔵さん」についての感想記事は、いろいろあって掲載できなくなりました。申し訳ありません。



メニューその11。肉じゃが、きんぴらごぼう、サラダ（ツナ）古漬け胡瓜、味噌汁。

また、掲載を予定していた生活保護および医療観察法についての記事も、掲載を延期致します。これらに関する記事については、さらに精神保健福祉法、（あるいは障害者総合福祉法もふくめるかもしれませんが）などもからめて書いていきたいと思えます。

ちょっと長めの次号予告に入りま

次号予告

す。前述しましたが、鑑賞会の記事については、今年（2013年）を振り返って日帰り旅行、東京善意銀行にいただいた鑑賞券ぶんにおいて、簡単に

徒然と述べていこうかと思っています。

次号の特集は、「2013年を振り返って」と「2014年の抱負」それから「韓国旅行レポート」と「プログラム紹介」です。2013年も、いろいろなことがありました。記事では、時事に関すること、私事に関すること、どちらでもいいので書いてもらおうと編集部では考えております。

筆者個人的には、「ほっと」ニュー編集を引き継いだのはいいのですが、ここまでできてはや3号、逆に言えば1年間で3号しか進めることができなかったとも言えます。来年は、もう少し発行のペースを進めたいと思っています。また、誌面を充実させたいとの思いとは裏腹に、観方を変えれば冗



メニューその12。ポークチャップ、筑前煮、コールスローサラダ、オニオンスープ、刻みたくあん。



メニューその13。ジャガイモのチヂミ、きのこキャベツの炒め物、サラダ、白菜スープ。

長になってしまったかな、との印象も否めません。（現に、今書いている文章もページの穴埋めみたいなものです）

今後の方針としては、写真、イラストを多用したポップな誌面というの一つの方向性としてアリかな、と思っています。

予告に戻って、特集のほか、今号で掲載できなかったこと、とりわけ東京善意銀行で観に行った催し物の紹介をさらりとしたいと思います。また、レギュラー企画、「日々雑感」や「書評」に「映画評」、個人的にあったこと、とりわけ遠くへ出かけたときのことなど。できればマンガやイラストも掲載したいところではありますが、まだ描いているひとがないので、出てくることを期待しています。

温めているのですが、そのいくつかを書いていると思っています。

将来の展望

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

予定です。

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては

「ほっと」ニュースの将来的な形として、いくつかの案を編集部としては



メニューその14。八宝菜、卵とわかめのスープ、漬物、アロエヨーグルト。



メニューその15。カボチャ粥、おにぎり（スクランブルエッグ）サラダ、漬物。

まず、月刊化。とにかく少ページになってもいいから月刊で出すというコンセプトですが、これは正直言って現段階では実現は難しい状況です。筆者は某所で機関誌の編集をやった経験があるのですが、特集記事のテーマ決めも1回の話し合いだけでこなし、記事も早く集まってきたので比較的楽に編集できました。（逆にイラストの集まりがあまりよくなかったです）ほっとスペース八王子では、やっぱり個人差というものがあるもので、なかなか予定通りに記事が集まらない、というのが現状です。ただ発行ペースを上げるだけならあるいは可能なかもしれませんが、そうなるのと特定の会員（職員）に偏った誌面になってしまうのは明白

です。

次に、政治色の後退です。以前より、職員と会員の一部では「ほっとスペース八王子は、HP（ホームページ）を見ても政治色が強すぎる」という意見が聞かれました。確かにそういった要素が強いのは間違いありません。ですが、政治関係なしにのんびりやるのも「ほっとスペース八王子」ですし、バリバリに政治活動をするのも「ほっとスペース八王子」です。（注：政治活動はもちろん強制ではありませんし、政治思想の自由は保障されています。しつついようですがこの辺は強調しておきます）ですから、当面は両立できないかな、と思っています。理想は、思想面でしゃちこばらない、明るいポップな誌面を目指しています。



メニューその16。五目ちらし寿司、水菜ひたし、胡瓜古漬け、鶏胸肉と大葉チーズはさみ揚げ、味噌汁。

結

び

さて、「ほっと」メニュー143号はいかかでしたでしょうか。今号の特集を昼食会にしたこともあって、誌面の画像には昼食会で実際に出されたメニューの写真を多用しました。（実は昼食会があれば毎回メニューを撮影するのですが、たまに忘れたりすることがあります。そしてそういう時に限っていいメニューだったりもします）みなさんの「食」に対する姿勢がうかがえてとても興味深い記事になりました。

まったく話題は変わるのですが、前号（142号）から今号発行までの間、元会員であった鮎澤晴美さんと岩澤篤子さんが亡くなったそうです。（そのうですと推定調なのは、伝聞にて死因など詳細が判らないからです）9月に鮎澤さんを含めて「偲ぶ会」を催した後になつての岩澤さんの死の報告。ただ痛惜のひとつ。とくに鮎澤さんとは筆者もかなりお世話になったので、もっと早く知っていれば、あるいは仕事を手につかなかったかもしれない。ご冥福をお祈りいたします。合掌

原稿募集のお知らせ

「ほっと」では、引き続き読者の皆様方の原稿を募集しています。毎日メールをチェックしてはがっかりする日々。期待通りには行かないのが世の常とはいえ、それでもやっぱり読者の皆様方の協力を期待せずにはられないのが「ほっと」の編集部というものです。「ほっと」に記事が掲載されるインターフェイスはいくつもあります。まずは電話、そしてメールとフェイスブック。なんだったらいっそ「ほっとスペース八王子」の会員になってしまうというのも手です。（賛助会員であれば、資格に制限はありません）次号でも性懲りもなく募集します。気長に。（編集部）



昼食会のメニュー以外にも、誕生会があればケーキを作ったり、行事があれば、手巻き寿司をしたり餅をついたりもしています。（写真は6月の誕生会ケーキです）

編集後記

▼すっかり寒くなりました。皆さん、如何お過ごしでしょうか。筆者は、「ほっと」の編集をしつつ、この「ほっと」を自分の存在意義とオーバーラップして、悪戦苦闘する日々が続いています。

▼なにぶん、編集作業よりも「ほっとスペース八王子」自体のプログラムを優先する場合が多く、なかなか編集作業に集中する機会もなく、また一方で、「ほっと」の発行ペースを上げようという声もあり、ジレンマをかかえつつ今に至っている感もあります。泣き言と言いつつ、と言われれば全くその通りです。申し訳ありません。

▼この文章は、「HG行書体」というフォントを使って書いています。フォントは文章においていわば「顔」のようなものです。「顔」が変われば印象も替わる、元の顔が不細工とか云々ではなくて、「表情」が大事だという事です。今後もそれを大事に編集に勤しみたいと思います。（編集部）